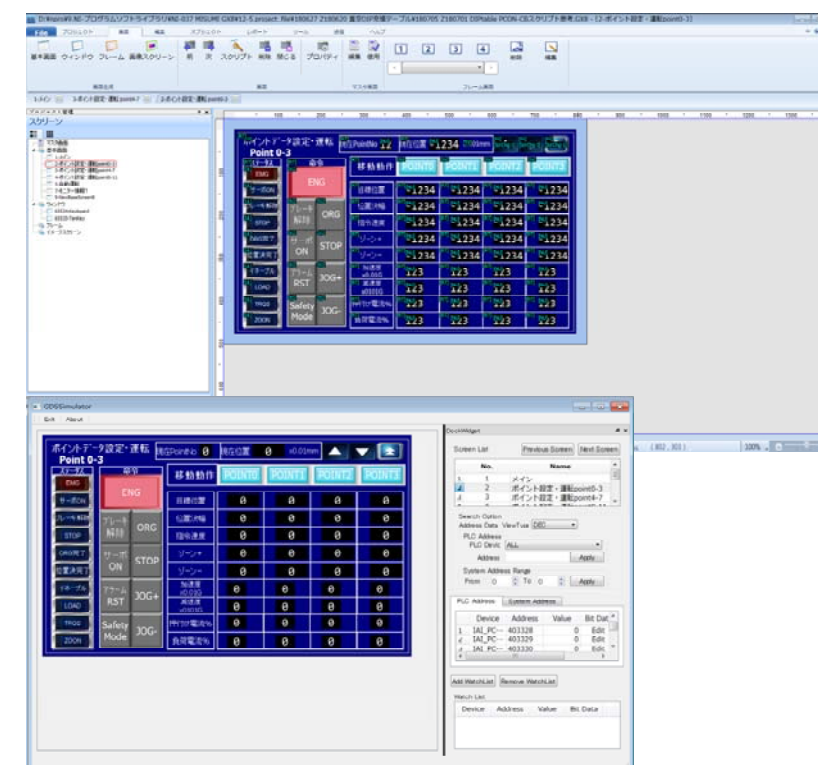
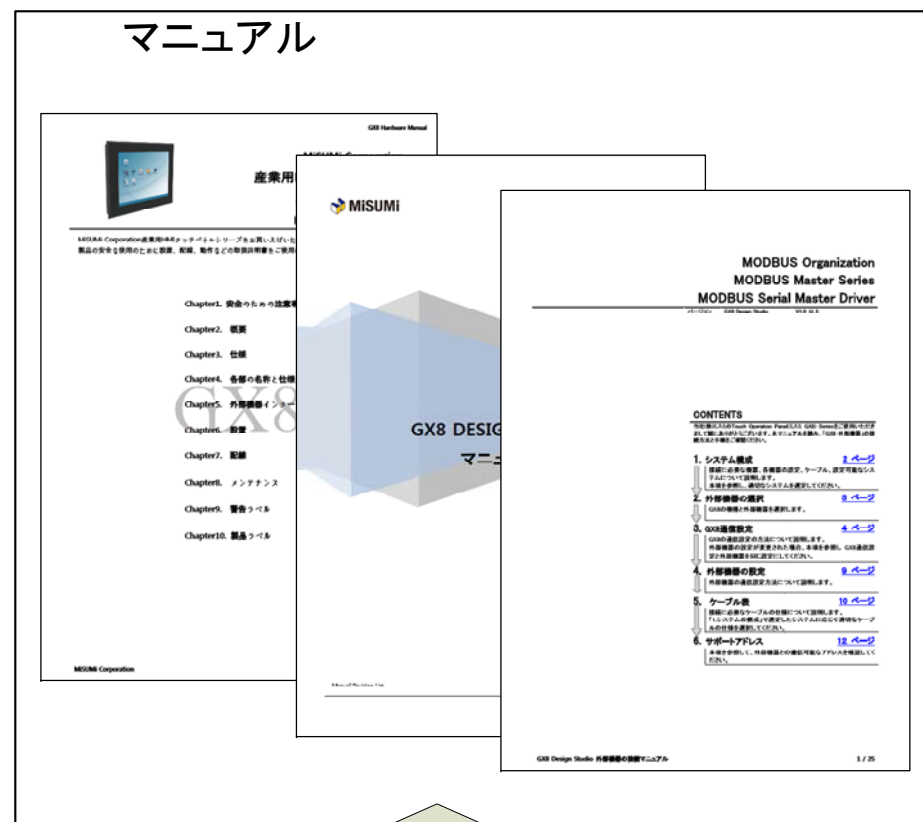


マニュアル



シミュレータ

GX8 説明マイポイント

ポイント	マイポイント名称	表題	マニュアル	作成日	更新
A1	梱包の中身は？	さあ！立ち上げよう 配線	GX8_Standard_Series_HW_manual_180202_Japanese	180809	
A2	電源配線は？				
A3	通信用RS485の配線は？				
A4	パネル取付は？				
A5	取扱説明書は？				
A6	初期化の方法は？				
B1	GX8Designstudioのダウンロードは？	さあ！たちあげよう デザインスタジオ	GX8Designstudio_Manual_Japan		
B2	GX8Designstudioのインストールは？				
B3	英文表示を和文に？				
B4	分かりやすい画面設定に？				
B5	新規作成画面を？				
C1	ボタンをつくるには？	ボタンをつくろう デザインスタジオ	GX8Designstudio_Manual_Japan		
C2	文字の挿入は？				
C3	枠の作成は？				
C4	背景色の変更は？				
C5	スクリーンチェンジは？				
C6	シミュレーションで動作確認を？				
D1	文字表記ランプ(入力ランプ)は？	ランプとボタンとテンキーをつくろう	GX8Designstudio_Manual_Japan		
D2	文字表記ボタン(表示灯付き出力スイッチ)は？				
D3	数字キーで入力？				
E1	本体へプロジェクトを書き込むには『USB』？	本体に書きこもう	GX8Designstudio_Manual_Japan		
E2	本体の起動？				
E3	本体へプロジェクトを書き込むには『LAN』？				
E4	メニュー画面に戻るには？				
E5	ピープ音を消すには？				
E6	自動プログラムRUNモードにするには？				

知りたいことを検索する逆字引

本体に書きこもう

ランプとボタンとテンキーをつくろう

ボタンを作ろう

さあ！立ち上げよう デザインスタジオ

さあ！立ち上げよう 配線

GX8マイポイント集

GX8デザインスタジオを簡単に使うヒント



マイポイント表紙

GX8 マイポイント集
デザインスタジオを簡単に使うヒント

ポイント.A1 梱包の中身は？

PLCタッチパネルGX8シリーズは画面サイズ5インチから15インチの8種類あります。
ここでは7インチのPLCP-GX8-07W-DC-Rを使って開封から配線まで簡単に説明します。



型式	画面サイズ
PLCP-GX8-05W-DC-R	5インチワイド
PLCP-GX8-05-DC-R	5.7インチ
PLCP-GX8-07W-DC-R	7インチワイド
PLCP-GX8-08-DC-R	8.4インチ
PLCP-GX8-10-DC-R	10.4インチ
PLCP-GX8-10W-DC-R	10.2インチワイド
PLCP-GX8-12-DC-R	12.1インチ
PLCP-GX8-15-DC-R	15インチ

タッチパネル本体

前面保護シート：本体液晶パネルの保護用シート

取扱説明書：立ち上げ時の説明が書かれています、他のマニュアルはHPよりダウンロードします。

電源コネクタ：分割タイプのコネクタです。

終端抵抗：RS485通信で使う終端抵抗です ☆詳細はマイポイント通信編へ

本体クランプ：パネルに本体を取り付けるときに使う金具

ポイント.A2 電源配線は？



タッチパネル本体裏側に電源ソケットがあります。

ソケットにコネクタを挿入すると、電源の極性が簡単に確認できます。

コネクタを抜いた状態でDC24V電源+（赤色）と0V（黒色）をねじ止めます。

棒端子を使うことも出来ます。

詳細は GX8_Standard_Series_HW_manual_180202_Japanese
Chapter7.配線 参照



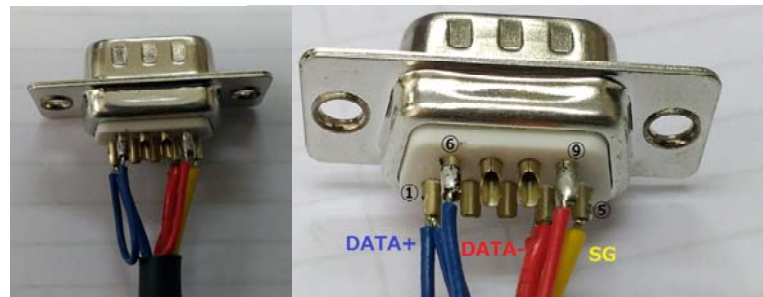
補修用として

電源用コネクタをmisumiより相当品が入手できます！

名称 ネジフランジ付きプラグコネクタ

形式 MSTB2.5-3-STF-5.08

ポイント.A3 通信用RS485の配線は？



5.1.4 COM2 コネクタピン番号及び信号名

形態	ピン番号	信号名	方向	内容
9Pin Female	1	RDA(RD+)	入力	RS-422/485 データ受信(+)
	2	RD(RxD)	入力	RS-232C データ受信
	3	SD(TxD)	出力	RS-232C データ送信
	4	RDB(RD-)	入力	RS-422/485 データ受信(-)
	5	SG	-	信号グラウンド
	6	SDA(SD+)	出力	RS-422/485 データ送信(+)
	7	RTS	出力	RS-232C 送信要求信号
	8	-	-	N/A
	9	SDB(SD-)	出力	RS-422/485 データ送信(-)

通信コネクタは本体下側にcom1、com2があります

RS232、RS485でDSUB9ピンコネクタです（COM2は共用）

コネクタはmisumiHPより購入できます！

名称 D-subシリーズコネクタ 形式 DE-9P-NR

名称 Dsubコネクタ 樹脂フード 形式 DE-C8-J9-F11R

1ペア配線の場合は写真のように①—⑥を共通に、④—⑨を共通にSGをコモンとしてDATA+とDATA-をツイストペア配線します。

又、必要に応じて添付されている終端抵抗をDATA+とDATA-間に接続します。

抵抗は外部機器(PLCなど)の指定を参照してください

ポイント.A6 取扱説明書は？

Hardware_manual
GX8_Standard_Series_HW_manual_180202_Japanese
GX8Designstudio_Manual
GX8Designstudio_Manual_Japan
通信マニュアル-GX8(各社対応)
23 MODBUS Master Series_Serial CommManual
GX8Designstudio_Program
GX8_Design_Studio_Setup_Ver_1_4_9_9_MISUMI
接続 機器一覧
GX8_List_of_Supported_Controllers

ポイント.A4 パネル取付は？



モデル名	A (mm)	B (mm)	C (mm)
PLCP-GX8-05W-DC-R	136	100	1~5
PLCP-GX8-07W-DC-R	197	127	
PLCP-GX8-10W-DC-R	260	202	

パネル取付は専用取付金具4個を使います

本体とパネルとの接触部にはゴムシールが入っています

ねじ締めトルク0.2N・mで締め付け、振動のある環境ではねじロック併用をお勧めします。

ポイント.A5 初期化の方法は？



本体を初期化する方法

- ① SDカードにリカバリーファイル書き込む
※マニュアルGX8 DESIGN STUDIOマニュアルP33参照
- ② GX8に装着後電源ON DSW下に切り替える
- ③ ビープ音が鳴ったら、DSWを上に戻し、電源OFF→ON

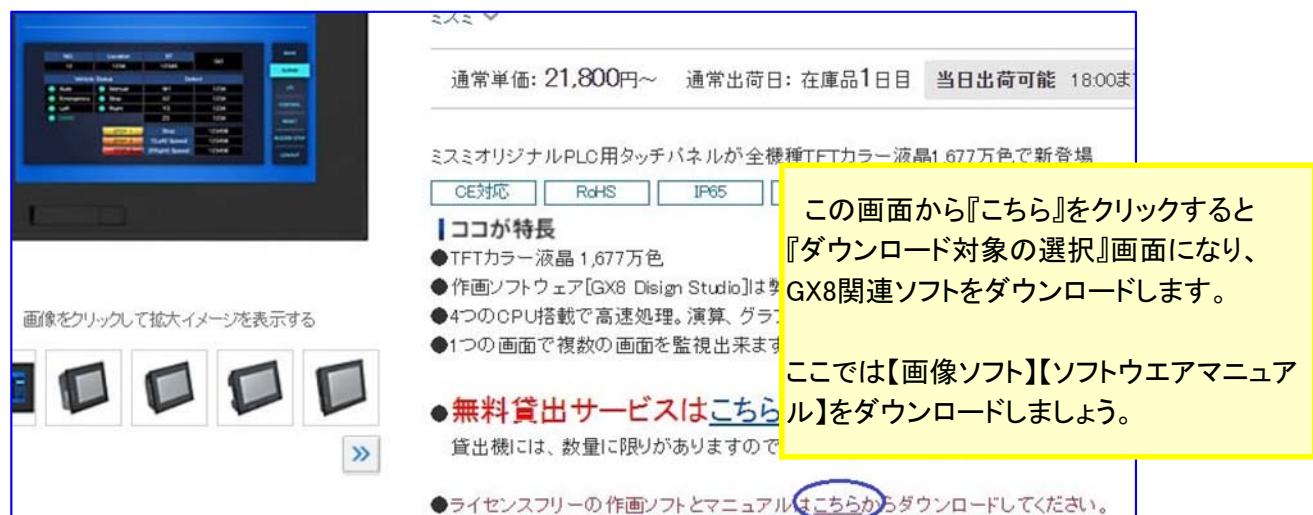


さあ！たちあげよう 配線

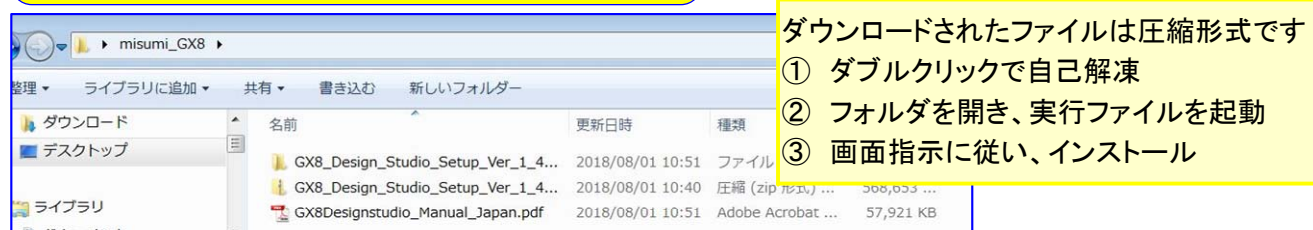
GX8 マイポイント集 A
デザインスタジオを簡単に使うヒント

ポイント.B1 GX8Designstudioのダウンロードは？

デザインスタジオは画面作成からシミュレーションまでの機能が入っている無償のサポートソフトです。
まず、デザインスタジオをミスマのHPからダウンロードしましょう。
検索サイト>MISUMI>GX8>



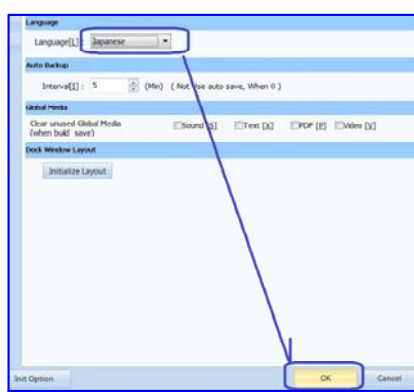
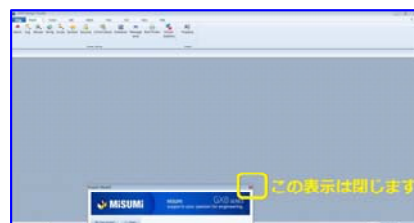
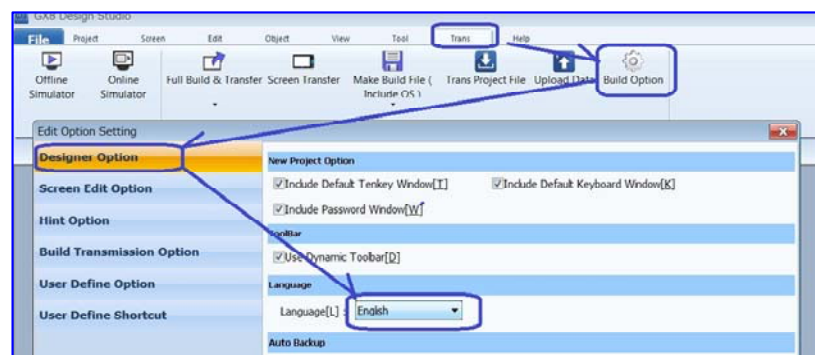
ポイント.B2 GX8Designstudioのインストールは？



ポイント.B3. 英文表示を和文に？

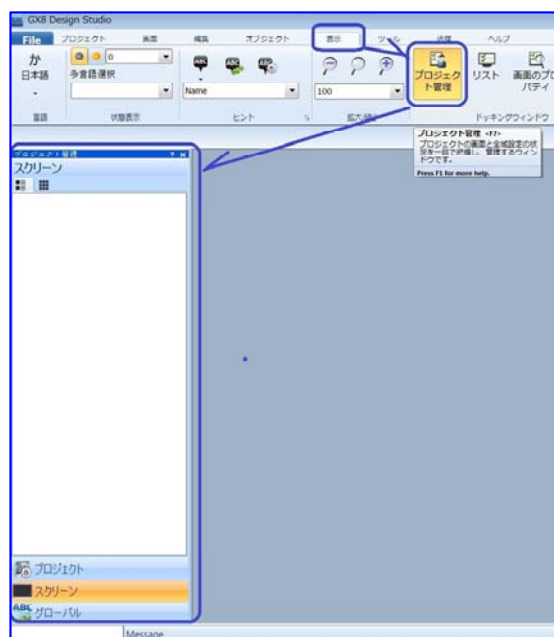
デスクトップの『GX8Designstudioアイコン』をクリックし起動させます。

- ① 英文表示のときはメニューの>TRANS>BuildOption
- ② Japaneseを選択後、OK



ポイント.B4 分かりやすい画面設定に？

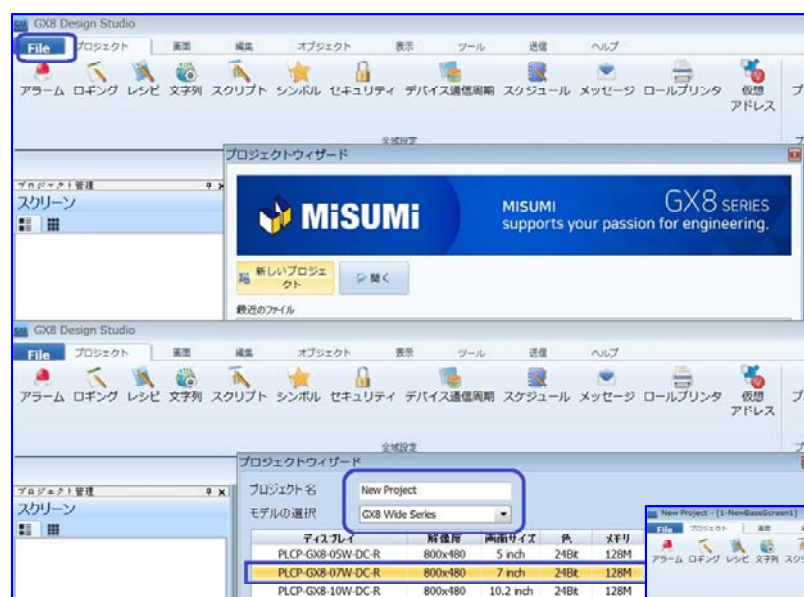
■ Windows画面のエクスプローラのような画面構成に変えてみます。



画面の左側にプロジェクトフォルダなどを配置すると、画面操作のときに全体像が分かりやすくなります。
メニュー>表示>プロジェクト管理 をクリックすると表示されます。

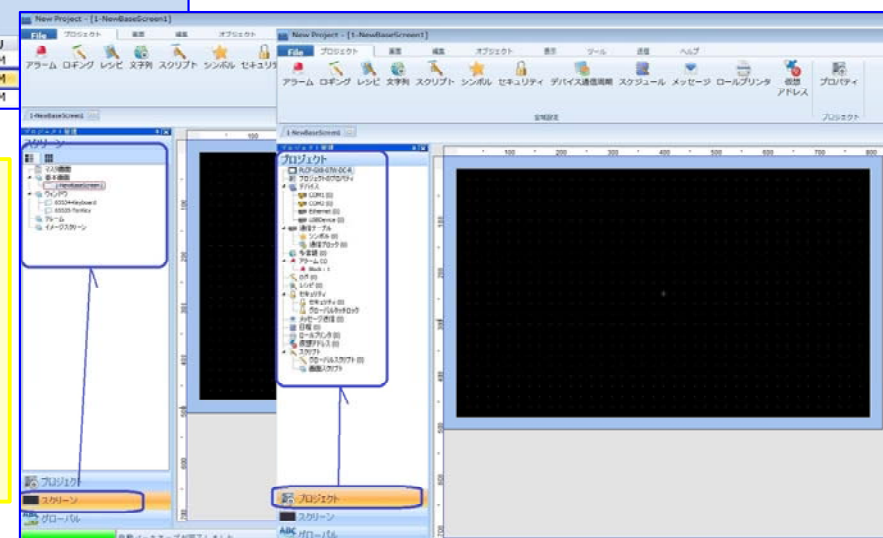
☆プロジェクト管理メニューを左側の枠外に移動させるとドッキングします
プロジェクト管理メニューの右上にピンも表示されます

ポイント.B5 新規作成画面を？



メニューより>File>新しいプロジェクト>プロジェクトウィザード画面より
プロジェクト名 NewProject 変更可能ですが、このまま進みます モデルの選択 GXWideSeries
該当形式 ここでは PLCP-GX8-7W-DC-R を選択します。
>次へ>通信設定 変更せず >完了とします。

新規画面が黒塗りで現れます。
左下のタブを切り替えると
・スクリーン
・プロジェクト
・グローバル
を切替られます。
『スクリーン』を選択すると画面構成がひとめでわかります！



さあ！たちあげよう
デザインスタジオ

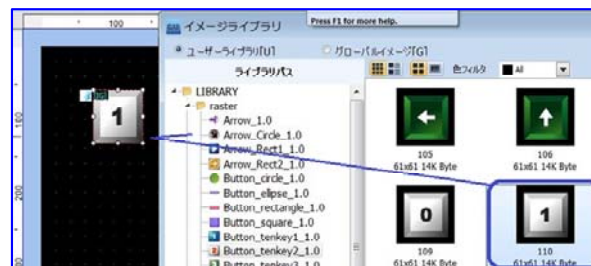
GX8 マイポイント集 B
デザインスタジオを簡単に使うヒント

ポイント.C1 ボタンをつくるには？

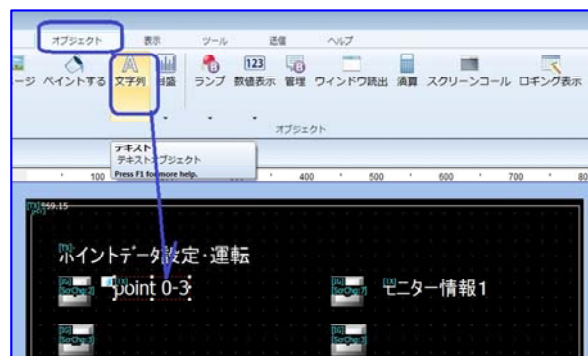
デザインスタジオはイメージライブラリーを使って簡単にボタンが作れます



ボタンの作成
メニューより
ツール>イメージライブラリー>
ボタンテンキー2
の中から選択します。



ボタン110を選択し、編集画面にドラッグします。
大きさ、位置はマウスの選択移動で調整します。



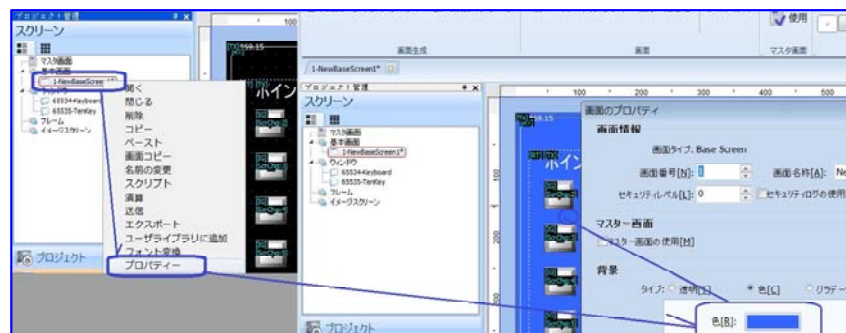
ポイント.C2 文字の挿入は？

文字の挿入
オブジェクト>文字列>
編集画面で赤枠内に「文字」を埋め込みます。
大きさ、位置はマウスの選択移動で調整します。



ポイント3. 枠の作成は？

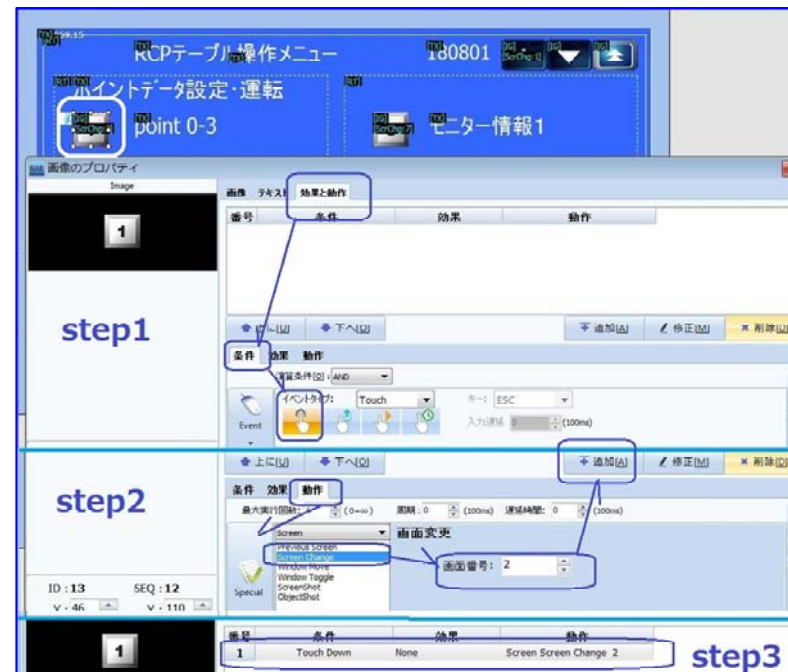
枠の作成
オブジェクト>四角形>
大きさ、位置はマウスの選択移動で調整します。



ポイント4. 背景色の変更は？

画面の色変更
左枠内の『スクリーン』より
基本画面>ニューベシックス
スクリーンを選択
マウス左クリックでプロパティを
選択し、背景色を変更します。

ポイント.C5 スクリーンチェンジは？



便利な機能として
ボタン1を押すと画面2へ移る方法を説明します。
Step1. ボタン1選択>画像プロパティ 表示
効果と動作>条件>
イベントタイプを『タッチダウン』選択
Step2. 動作>スペシャル>スクリーンチェンジ>
画面番号2 と設定し『追加』を選択
Step3. 追加 タブを選択すると
番号1に条件と動作が表示されます。

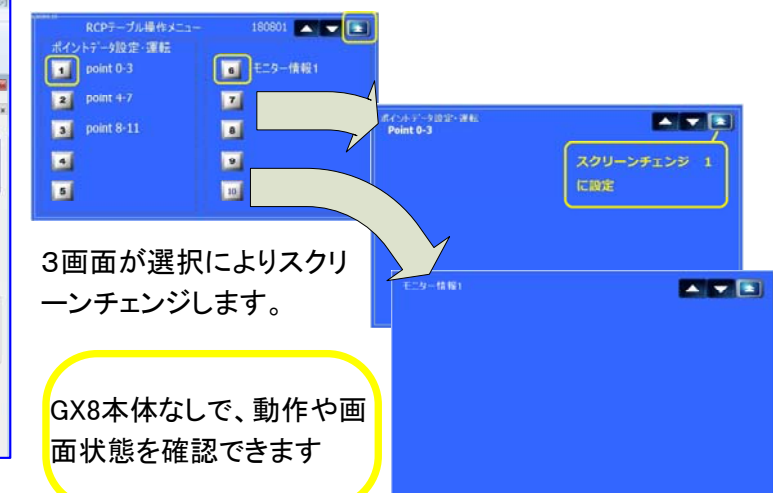
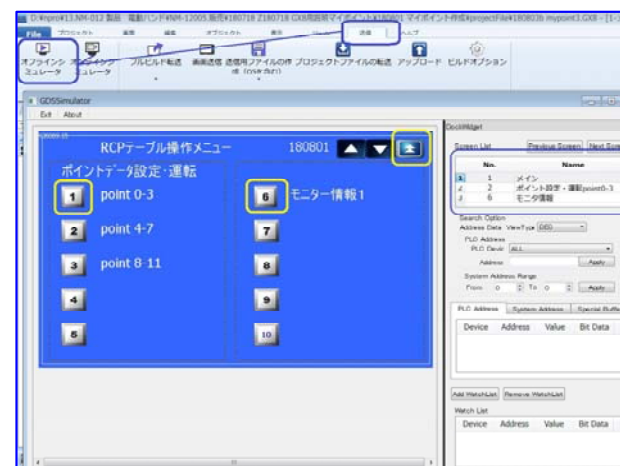
スクリーンチェンジの動作例はC6、
E2を参照してください！

ポイント.C6 シミュレーションで動作確認を？



同じように画面を2つ追加します
画面名称の変更は画面名称のプロパティで変更
します。

メニューより
送信>オフラインシミュレーション を選択
シミュレーション画面があらわれます
RCPテーブル操作メニュー』
1 を選択 >ポイントデータ設定・運転 画面へ
「戻る」を選択すると、最初の画面
6 を選択 >モニター情報1 画面へ



3画面が選択によりスクリー
ンチェンジします。

GX8本体なしで、動作や画
面状態を確認できます

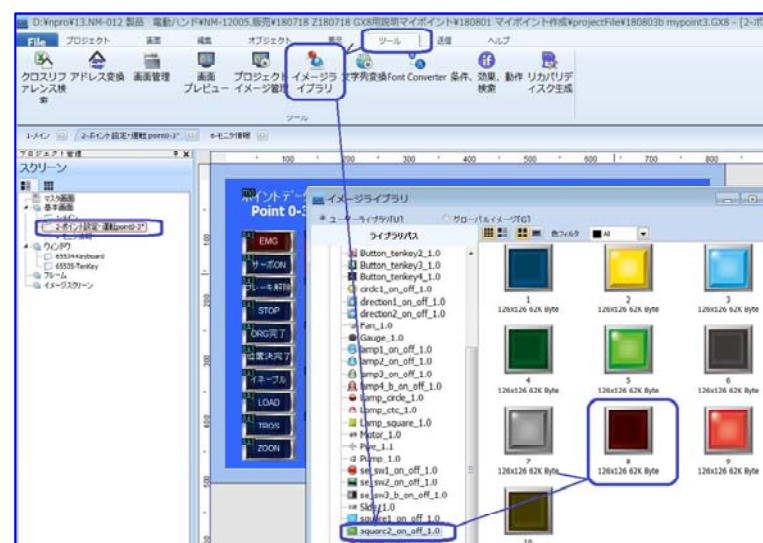


ボタンをつくろう

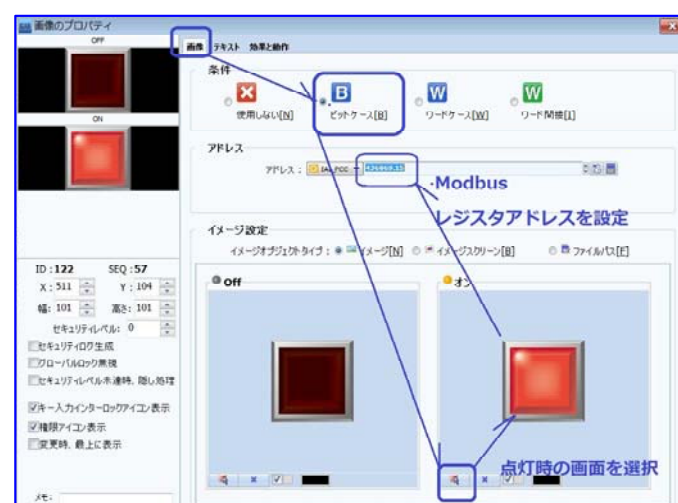
GX8 マイポイント集 C
デザインスタジオを簡単に使うヒント

ポイント.D1 文字表記ランプ(入力ランプ)は？

タッチパネルには通信ポートを備えています、RS232、RS485 (Modbus)、LAN接続でPLCなどの外部機器が繋がります。ここでは、一般的なRS485ModbusRTU接続を例として画面設定とシミュレーションをおこないます。



ツール>イメージライブラリ>スクエア2
>消灯ランプを選択



作画中のボタンを選択し、画像プロパティより
画像>ビットケース=> 選択
点灯画面を選択

アドレスはModbusレジスタアドレスを記載、
表示文字はテキスト内に記入します。



ポイント.D2 文字表記ボタン(表示灯付き出力スイッチ)は？



ツール>イメージライブラリ>ボタンスクエア1.0>
43押しボタンを選択
作画中のボタンを選択し、画像プロパティより
画像>ビットケース=> 選択
点灯画面(黄色)を選択

表示灯アドレスは「SYS1.15」を記載します。
表示文字はテキスト内に記入します。
詳細は前項と同じ手順

画面プロパティより 効果と動作>条件>イベントタイプ>立ち上りでON を選択
番号1. EMGボタンを押すと、立ち上り信号で1001.15がON、EMGが黄色表示！



つぎに 画面プロパティで
追加>効果と流れ>条件>イベントタイプ>
動作>立ち上りでON を選択
IOアドレスはModbusRTUの設定値「403328.15」を記入

番号2. EMGボタンを押すと、立ち上り信号で「403328.15」
=1 となります。

ポイント.D3 数字キーで入力？



数字を外部に出力する場合は数値表示を使用します。

Step1. メニュー>オブジェクト>数値表示>
マウスで作画画面に配置します。

Step2. 数値表示を選択し、 数字キー表示プロパティより
データ> アドレス「IAI_PCC 404049」とします。

Step3. スタイル>Word Swapに V をいれます。

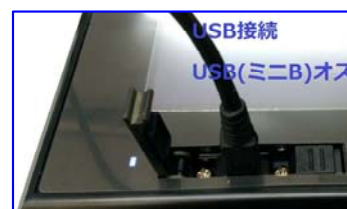
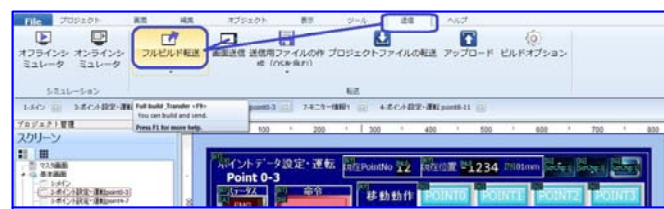
完成した画面⇒



ランプとボタンとテンキーをつくろう

GX8 マイポイント集 D
デザインスタジオを簡単に使うヒント

ポイント.E1 本体へプロジェクトを書き込むには『USB』？



本体電源をON、
PCのUSBポート
とGX8本体をUSB
ケーブルでつな
ぎます。

GX8本体に作成したプロジェクトを書き込む方法
はデザインスタジオのメニューより

送信＞フルビルド転送＞

接続設定メニューが表れたら
USB＞接続＞確認

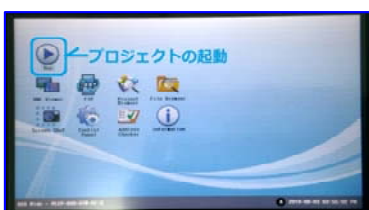


メニューより

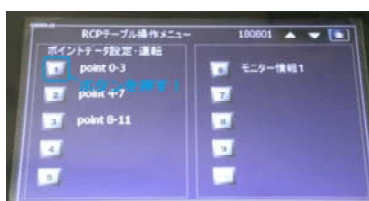
送信＞

本体ソフト更新の場合は図のような表示が現れ
ますが、10分程度でGX8本体にプロジェクトが書
き込まれます。

ポイント.E2 本体の起動？



①
GX8本体の初期画面
RUN＞ でプロジェクト
を開始



②
プロジェクトの画面1
が表示
ボタン1を押すと



③
画面2へ切替

マイポイントP4までにつくったプロジェクトがIO以
外正常動作していることがわかりました

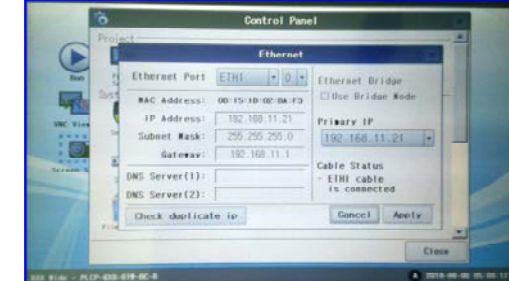
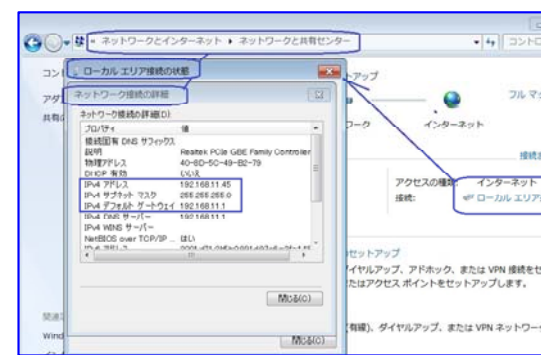
ポイント.E3 本体へプロジェクトを書き込むには『LAN』？



本体の左側面のLANソケットにLANケーブルコネクタ
を接続、本体の電源をON

GX8本体に作成したプロジェクトを書き込む方法はデ
ザインスタジオのメニューより

送信＞フルビルド転送＞



① GX8本体の設定

本体画面 コントロールパネル＞イーサネット を表示させ
パソコン ネットワーク接続の詳細＞
IP Addrss Subnet Mask Gateway

ネットワーク接続を参考に

GX8の本体のイーサネット設定をおこないます

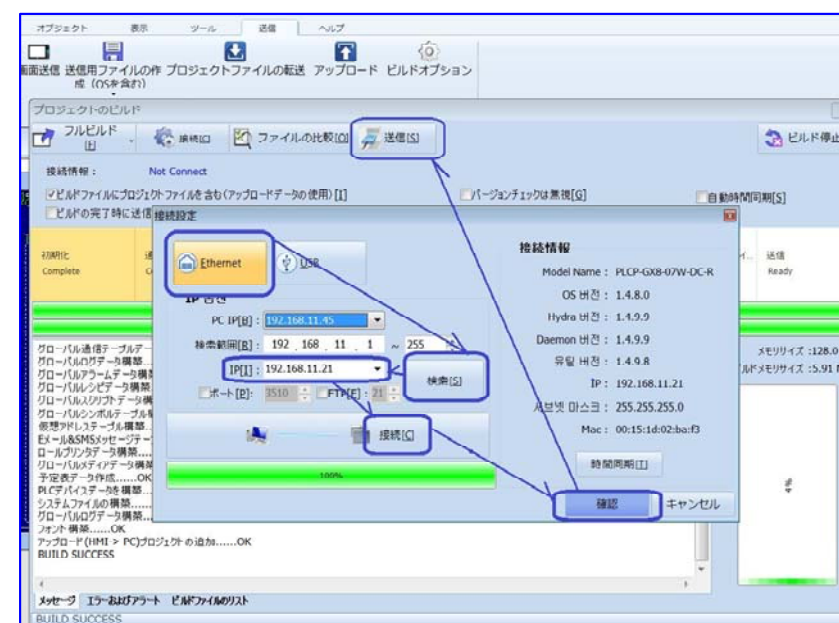
ここでは IP Addrss 192.168.11.21 としましたが空いているポ
ート番号に設定します。

② デザインスタジオの設定 続き

接続設定メニューで 検索＞ IPアドレスが検索されたら 接続＞確認

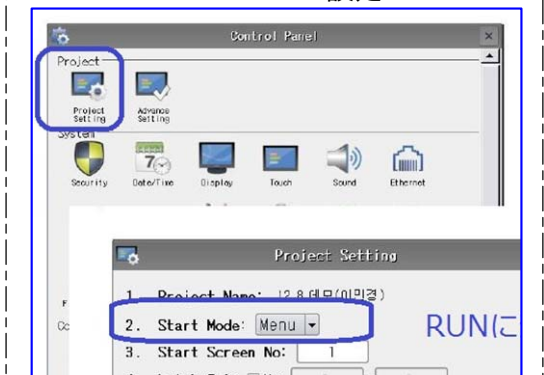
③ デザインスタジオのプロジェクトビルドメニューより 送信＞

以上でプロジェクトが本体に書き込まれます。

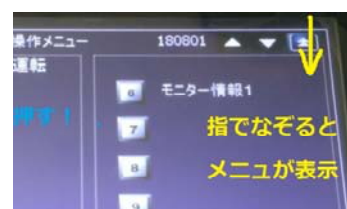


ポイント.E6 自動プログラム RUNモードにするには？

メニューより
プロジェクト＞プロジェクトセッティング＞
2. Start Mode:RUN へ設定

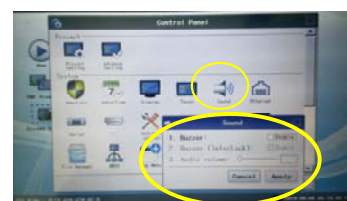


④
POINT1、目標位置
のボタンを押すと
テンキーがポップア
ップされます



ポイント.E4 メニュー画面に戻るには？

左側メニューを選択
初期画面へ移ります。



ポイント.E5 ピープ音を消すには？

コントロール＞サウンド＞
ピープ音を消します。



本体に書きこもう

GX8 マイポイント集 E
デザインスタジオを簡単に使うヒント